MITSUBISHI

9802R871HL0501

三菱パイプ用ファン（居室用）<湿度センサー付>

形　名

V-08PSHSD3・V-12PSHSD3

取付工事・取扱説明書

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

■ 接続パイプは市販品の塩化ビニル管08タイプ（4番管、呼び径φ100）、12タイプ（6番管、呼び径φ150）・鋼板管08タイプ（内径φ100）、12タイプ（内径φ150）をご用意ください。
■ 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。

取付工事終了後は必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

■ ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
■ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同封のお客さま相談窓口一覧表とともに保管してください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取付け・取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取付け・取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は、次のとおりになっています。

禁　止	水ぬれ禁止	分解禁止	風呂・シャワー室での使用禁止
接触禁止	指示に従い必ず行う		

⚠警告

取付時

- **メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける**
  （漏電した場合発火することがあります）

使用時　取付時

- **ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切はしない。また電動工具の操作をしない**
  （爆発や引火の恐れがあります）

- **製品を水につけたり、水をかけたりしない**
  （ショートや感電の恐れがあります）

使用時　取付時

- **分解・改造はしない**
  （火災・感電・けがの原因となります）
  分解・修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください

- **交流100Vを使用する**
  （直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります）

使用時

- **お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る**
  （感電やけがをすることがあります）

⚠注意

取付時

- **直接炎のあたる場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない**
  （火災の恐れがあります）
- **浴室など湿気の多い場所には取付けない**
  （感電および故障の原因となります）

- **本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う**
  （落下によりけがをすることがあります）
- **配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
  （接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）
- **電気工事は必ず電気工事店に依頼する**
  （感電の恐れがあります）

使用時　取付時

- **取付け・お手入れの際は手袋を着用する**
  （けがをすることがあります）
- **羽根や部品の取付けは確実に行う**
  （落下によりけがをすることがあります）

使用時

- **本体に異常な振動が発生した場合使用しない**
  （本体・部品の落下によりけがをすることがあります）
- **運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない**
  （けがの恐れがあります）

- **長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る**
  （絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）

取付け前のお願い

- **アルミスパイラルダクトへの取付けはしないでください。**
  （振動の原因になります）
- **システム部材（深形フードなど）は壁厚にあったものを選んでください。**
  （壁厚により取付けられないものがあります）
- **天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。**
- **効果的な換気を行うために給気口を設けてください。**
- **換気扇に直射日光などが当る場所には取付けないでください。**
  （誤動作の原因になります）
- **高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。**
  （故障の原因となります）

各部のなまえと外形寸法図

V-08PSHSD3

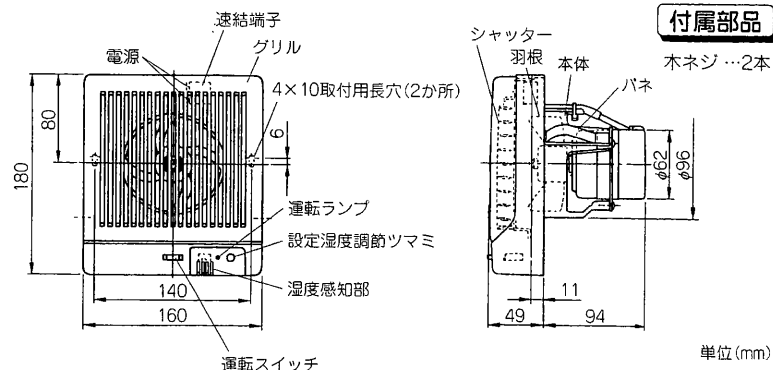
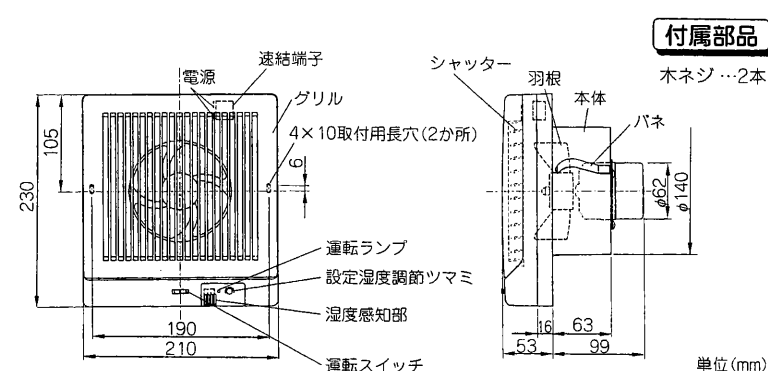
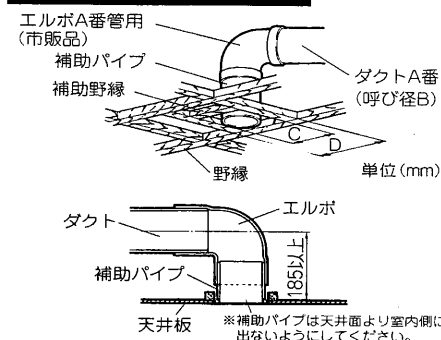
V-12PSHSD3

取付方法

取付け前の準備

壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

1. 壁厚に応じてパイプの長さを決める。
   - ●パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)管と厚肉(VP)管および鋼板管があります。必要に応じたパイプの長さを決めてください。
2. 壁穴にパイプを差し込み確実に固定する。
   - ●固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
   - ●パイプは室内壁面より出ないように差し込みます。

天井取付けの場合

野縁工事とダクト配管

1. 左図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。

形 名	A	B	C	D
08タイプ	4	φ100	□120	□180
12タイプ	6	φ150	□170	□230

2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。
3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。

電気工事

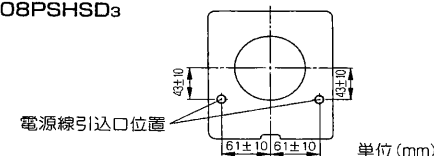
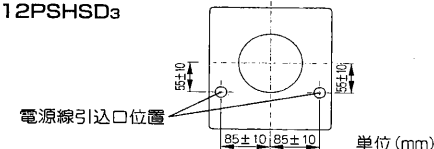
⚠警告

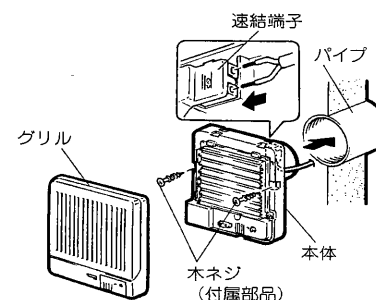
交流100Vを使用する
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)

⚠注意

- ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
  (接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)
- ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する
  (感電の恐れがあります)

■電源線は VVFφ1.6 2芯をご使用ください。

V-08PSHSD3

V-12PSHSD3

1. 電源線を左図のいずれかの位置から室内に引き込む。
2. 電源線の先端を約14mm皮むきする。

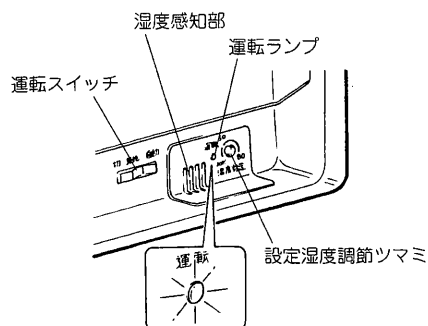
本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

1. グリルを本体からはずす。
2. 電源線を速結端子に差し込む。

お願い

- ●**電源線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。**
- ●**電源線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。**

3. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジ(2本)で壁または天井面(野縁)に固定する。
4. グリルを本体に取付ける。
   - ●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
5. 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

試運転

取付工事が終わりましたら、下記の要領にて試運転を行ってください。

1. 運転スイッチを「連続」にするとシャッターが開き換気扇が運転し、運転ランプ（赤）が点灯するか確認する。
2. 運転スイッチを「切」にするとシャッターが閉じ換気扇が停止し、運転ランプ（赤）が消灯するか確認する。
3. 運転スイッチを「自動」にし設定湿度調節ツマミを操作し、下記のことを確認する。（操作しにくい場合はグリルをはずして操作してください）

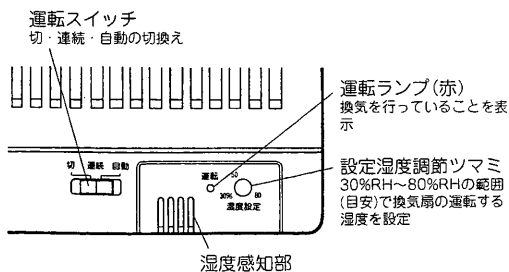
●設定湿度調節ツマミを左側に回しますとシャッターが開き、換気を開始します。（運転ランプ（赤）点灯）
　※周囲湿度が30%RH未満（目安）では自動運転しません。

●設定湿度調節ツマミを右側に回しますとシャッターが閉じ、換気を停止します。（運転ランプ（赤）薄く点灯）

※自動運転時の停止状態について

湿度感知部の周囲湿度を部屋の湿度に近づけるためにシャッターが閉じた停止状態であっても低速運転します。（シャッターが閉じているためほとんど空気は流れません）

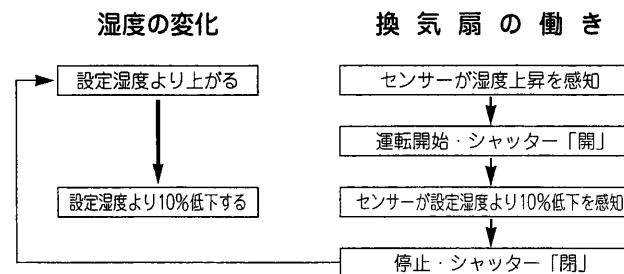
使用方法

**この換気扇は運転スイッチで連続・自動運転を選択して使用します。
自動運転は湿度センサーが湿度感知部の周囲の湿度を感知して自動的に運転（シャッター「開」）と停止（シャッター「閉」）を切換えます。
運転開始や停止のポイントを変更するときは設定湿度調節ツマミで設定を変更します。**

	運転スイッチ	運転状態	運転ランプ
切	切	運転停止	**消灯**
連続	連続	湿度に関係なく連続運転	**点灯**
自動	自動	**設定湿度による自動運転** 感知部湿度が設定湿度より高いとき……運転 感知部湿度が設定湿度より低いとき……停止	**点灯** **薄く点灯**

※自動運転時の停止状態について

湿度感知部の周囲湿度を部屋の湿度に近づけるためにシャッターが閉じた停止状態であっても低速運転します。（シャッターが閉じているためほとんど空気は流れません）

運転モード

※運転スイッチが「自動」の状態のとき下記の運転モードとなります。「切」にしますとどの状態においても停止となります。「連続」にしますと常に運転となります。

お願い

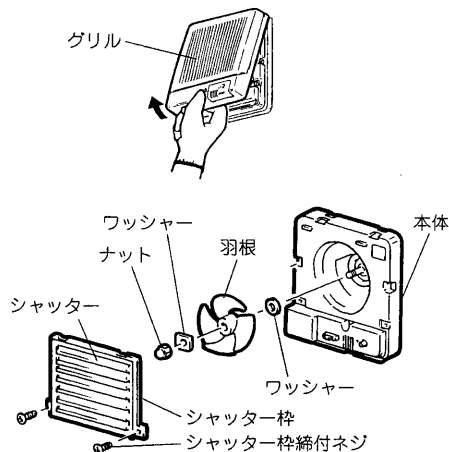
**●自動運転時は湿度感知部の周囲の湿度を感知しますので、動作する湿度と部屋の湿度とは異なる場合があります。
●設定湿度調節ツマミをお望みの湿度に合わせてから湿度感知部が安定するまで多少時間がかかります。使用する場所に応じて調節してください。
●設定湿度によっては羽根が突然回ることがありますので注意してください。
●雨天の日など室内湿度が設定湿度より高い場合は、連続運転と同じ状態になることがありますが故障ではありません。
●外風や室内の空気の流れまた、空調機器の送風により、感知湿度が変化する場合があります。
●設定湿度調節ツマミを操作しにくい場合は、グリルをはずして操作してください。**

お手入れのしかた

グリル・シャッター・羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音の発生およびシャッター動作に支障をきたす原因となります。約3か月に1度を目安として清掃してください。

⚠警告
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
（感電やけがをすることがあります）

⚠注意
お手入れの際は手袋を着用する
（けがをすることがあります）

各部品の取りはずしかた

1. グリルを手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。
2. シャッター枠を手で支えてシャッター枠締付ネジ（左右2か所）をはずし、シャッター枠を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。
3. ナットを右に回してはずし、羽根を手前に引き出す。

お願い

●羽根を取りはずすとき羽根の前後に固定用のワッシャーがありますのでなくさないでください。

清掃のしかた

グリル・シャッター枠部分・羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落してからきれいな水で洗い、よく乾かす。

お願い

●お手入れに下記の溶剤等を使用しますと変質・変色する原因になります。
（シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤）
●シャッターの清掃は、シャッター枠からはずさないように表面の汚れをふき取ってください。
（無理な力を加えるとシャッターがはずれる恐れがあります）

お手入れ後の確認

1. 取付けは取りはずしと逆の順序で行う。
2. 取付け後、次の確認をする。
 (1) グリルが確実に取付けられていますか。
 (2) 異常な音が出ていませんか。（必ず運転して確認してください）

修理を依頼される前に

このような症状があれば点検してください

埋込スイッチを入れても羽根が回転しない	運転中に異常音や振動がある	グリルがはずれかけている（傾いている）
運転スイッチが「切」になっていませんか？ 分電盤のブレーカーが切れていませんか？	ナットがゆるんでいませんか？ 本体・グリルが確実に取付けられていますか？	グリルが確実に本体に取付けられていますか？

点検・処置をしても直らないときは ⇒ **電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。** 費用については販売店とご相談ください。

アフターサービス

三菱パイプ用ファンのアフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、三菱電機お客さま相談窓口一覧表（取付工事・取扱説明書に同封）のお近くの相談窓口にお問い合わせください。

■補修用性能部品の最低保有期間
換気扇の補修用**性能部品**の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

（電圧100V）

形　名	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m^3/h)	騒音(dB)	質量(kg)
V-08PSHSD3	50	5.7	60	24	1.00
	60	5.8	70	28	
V-12PSHSD3	50	7.8	130	33	1.18
	60	8.2	135	34	

※特性はJIS C 9603に基づく。

愛情点検

☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●湿度を感知しても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 ●こげ臭いにおいがする。	▶ **使用中止**	故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　名	
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用。）

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話0573-66-2111